

【レポート1】

課題：小学校から高校までの経験で、これはおかしいと感じた学校の規則や習慣について記す

コース間における校則の差について

私が通っていた高校では、生徒の目標に合わせた3つのコースがあり、そのコース間で異なる校則が一部存在していた。そのうちの一つに携帯電話の持ち込み等についての校則が挙げられる。

この高校では基本的に、「携帯電話を持ち込みは可能だが、授業開始までに教員に預ける」という校則である。しかし、難関大学への進学を主眼に置いている特別コースの場合、携帯電話の持ち込みを認めていない。わたしはこれに疑問を抱いていた。

携帯電話の持ち込みを認めていたのは、登下校時に家族と連絡する為である。だが特別コースは「勉強の妨げとなる」という理由でそれを認めなかった。しかし、県内有数の進学校故に長距離通学の生徒も多く、登下校時の送迎や公共交通機関の遅れ・運休等に巻き込まれることもあるだろう。

その為、わたしは登下校時の安全確保の点から、特別コースでも携帯電話の持ち込みを許可するべきだと考えた。

小学校から高校までの経験で、これはおかしいと感じた学校の規則や習慣について記す

私が今までの経験でこれはおかしいと感じた学校の規則は2つあります。

一つ目は、中学生時の部活動強制参加です。忍耐力は付きましたが、やりたくないことを毎日毎日強制されることに意味はあるのかと疑問を持っていました。

二つ目は、高校生時の告知ありの服装点検です。普段は一切行わないのでその日だけ正しい服装しとけば通るので意味ないと思いました。

私が卒業した中学校の規則について

私がいた中学校では周りの中学校では規則で禁止されていない事が禁止になっていた。

例としては靴下で、他の中学校では色付きの靴下を履いても良いのですが、私の中学校ではワンポイントの白靴下のみ履くのを規則として指定されていた。また私の中学校は靴も規則で決まっており、これも白色を基調とした靴で、靴紐も白くなければいけない。その為色がついていたり、ラメ入りの靴紐の靴を買ってしまった場合、白色の靴紐をわざわざ買い、靴紐を取り替えなければいけなかった。靴だけチェックが厳しく、わざわざ委員会の時間帯に生徒の靴を委員にチェックさせていたりした。

他の受講している人と比較するとそんなにおかしいと思う点は少ないと思う。当時の私も周りの友達とは色々不満などを言っていたが私は何も不満も疑問も持たなかった。しかし今思い返せば他の中学校より規則を厳しくチェックしていたと感じた。

再試験や補講の有無について

私が小学校から高校までを通じておかしいと感じた規則や習慣は、高校時代に経験した「再試験や補講が存在しない」ことである。

私が通っていた高校は大学受験を目標にしている高校であったにも関わらず、定期試験や期末試験などの点数が芳しくない場合でも再試験や補講を行わない校風であった。

基本的には授業と自習によって学力を高め、テストの前後に追い込み講義などは行っていたが、学習の結果テス

トの成績が良くない場合でも再試験や補講は行わず、生徒自身の自学による復習が主であった。大学受験の際も基本的には生徒の自主性に任されており、生徒側から申請しない限りは講習などが無い。このことから私の通っていた高校では自主性を育てるのを重視していたと考えている。

### 高校での「問題行動」への対応

私が通っていた高校はあまり治安がいいとは言えず、時折生徒による窃盗等の問題行動が発生していました。そのようなことがあると学年の集会の時に報告されるのですが、被害額数万円の窃盗にもただ「問題行動」として、被害者に泣き寝入りさせるような対応をしていたことに疑問を抱きました。警察沙汰にしたくなかったのでしょうか、被害生徒が割を食う対応には釈然としませんでした。

### 服装検査の厳格な教育

私は学校の校則や習慣におかしいと思うほど頓着が無く、守れば何も問題ないものだと思い過ぎてきました。なので何人のか知人に意見を聞き考えました、その中で一番多かった意見は「服装検査」です。

全校生徒が集まる集会で必ず行われ、制服の着こなし、前髪と爪のチェックをされました。私の高校の制服のスカートにはすそを切ってもわかるようにマークがはいついて、必ずチェックされていました。前髪と爪はちょっとでも。規定より長すぎると怒られました。あと、女子生徒はメイクをしてきて怒られていることが多かったと思います。身だしなみをきちんと整えることは社会にでてから必ず必要な技術なので、中学や高校で厳しくチェックする必要はあるのかと感じました。

### おかしいと感じた学校の規則や習慣

おかしいと感じた学校の規則として高校の規則をあげる。高校では冬に着る防寒着は学校で販売されているコート以外を着て登校する事を禁止されていた。値段は詳しくは覚えていないがとても高く、高い割には防寒着としての出来は良くないというぼったくり商品であった。学校で販売されているコート以外着てはいけないのなら出来を良くしてほしいと高校時代は考えていた。これが高校時代におかしいと感じた規則である。

### 違う道筋で解いた物を正解と受け付けない教育

小学校の頃の話だ。3角形の外角の角度をいわゆるお受験テクニックで解いた子がいた。そのやり方で間違える事など無いので、完全に正しいやり方なのだが、教師はそれを証明しろと言いはじめた。その子は証明が出来ずにひたすら叱られてその日の授業が終わった。

その子が証明が出来れば一番カッコ良かったのですが、そもそも、数学の証明など、小学校で扱う内容ではないので、そこまでして生徒を怒る教師はただのエゴなのではないかと私は思った。本当に教師がすべきだったのはその場で、そのやり方がどうして正しいのかの証明だったと私は今でも思う。

### 小学校における学校の規則の違和感

小学生時代に私が違和感を覚えた学校の規則は2つある。1つ目は「シャーペンの使用禁止」である。このルールを採用している学校は多くあり、なぜこのルールがあるのか疑問を持つ人も一定数ぞんざいする。低学年のうちには力の制御が難しくシャーペンの芯が折れやすいため鉛筆を使うが、高学年ではシャーペンを使用しても良いのではと考える。生徒の中には鉛筆のように見せかけたシャーペンを使用する者もいた。

2つ目は「一人称で俺を使つてはいけない」である。これは小学生1年生の時に言われたきまりである。「俺」

という一人称には怖い人というイメージがあるとして禁止された。しかし、身内やテレビに出ている男性は「俺」という一人称を普通に使用しており、大人は良くてなぜ子供は駄目なのか、当時疑問に思った。

#### 小中高で不審に感じた規則や習慣

私は小中学校は横浜市立の学校に通っていたのだが、横浜市立の学校では入学式や卒業式などの式典、運動会や合唱祭などのイベントがある度に校歌と国歌だけでなく、横浜市歌というものを歌わされていた。その後横浜市外の公立高校、この東農大のオホーツクキャンパスに進学していった私としてはなぜあのような歌を覚えさせられたのかよく理解できない。

#### 自分が通っていた高校のネクタイ

私が小学校から高校までの経験でおかしいと思った学校の規則や習慣は高校の時のネクタイについてだ。高校の制服はブレザーでネクタイをしなくてはならなかった。自分が入学するタイミングでネクタイの柄が変わり、それまで使っていた柄を始業式や卒業式といった式で使ってはいけないというものだ。この校則でそれまでのネクタイを使っていた2, 3年生は新しく買わないといけなくなった。ネクタイを変えるのは別に良いと思うが、前のネクタイしか持っていない2, 3年までは前のネクタイのままでいいのではないかと思った。

#### 芸術だけではなく、科学分野にもちゅう

私は小中高一貫でシュタイナー教育を受けて育った。そのため、規則は基本的に生徒会で作る事が多く、おかしいと思うような規則や校則は在学中あまり感じなかった。

服装、アクセサリ、染色、靴、なども全て自由だった。全て自由であるがために今考えると個人が責任をもって行動していたように思う。

教育方針として、文学や芸術を多く取り入れている。高3でセリフを暗記し2時間半のクラス演劇をホールで演じる、一人持ち時間40分の卒業プレゼン発表などがあり、大学入試対策との両立に苦勞している人が私を含め多数いた。(卒業論文20p以上を書き終えなければ卒業単位がもらえない点は大学に似ている) 進学希望者の事を考え、もう少し早い学校行事が望ましい。しかし、正直なところ、私の高校は進学校ではないので何とも言えないのだが。

#### 日本の学校での過剰な規則の意味は

日本の学校教育、主に中学高校では服装、頭髪、アクセサリ類の禁止等の過剰な制限が古くからそのままであると私は感じた。私自身はピアスを付けたい、髪色を変えたいと思ったことは無かったが、生徒が教師に指摘され指導されている場面をよく見る機会があった。

そこで考えるのはこれらの規則に意味はあるのかということだ。極端に言えば、他人に迷惑をかけず勉学にしっかりと励めば格好は関係ないとも思う。ある国の教育風景を日本のものと比べるとという番組を見たことがある。服装は日本とは打って変わって自由であり、生徒達は日本の学校の規則についてはとても不思議に思うと語っていた。ルールはもちろん必要であるが私は日本の学校でのこの規則は少々過剰すぎると考えた。

社会人になる前に中学高校でルールを学ぶ必要があるのはよく理解できるが、これら規則の意味とはと聞かれると答えるのが難しい、古くからの考えを改める必要があると私は考える。

## 小学校から高校までおかしいと感じた規則

私は、小学校のころは人としてやってはいけないことをしたとき先生方に怒られることはあっても生徒指導といったものはまったくないものだと感じていました。ですが、中学校上がったとたん生徒指導される人たちを見ても怒られるといったことをしていないように感じなぜ生徒指導になったのか聞いてみると髪の毛を染めたり剃りこみを入れたりなどの髪型にはしていないのに指導対象になったと言っていたので生徒指導の先生に聞いてみるとサイドカットや段差がわかりやすいような髪型は指導対象になると言っていました。なぜそのぐらいで指導になってしまうのか不思議で周りの男子は指導にならないようにギリギリの髪型をして、その髪型は指導対象になるのかはその時に見てくれる先生の基準次第になっているのはおかしいのではないかと感じました。とかのようにおかしな規則などは色々ありました。

## 中国の学校のおかしい規則

大学から日本で勉強するから、この以前の日本の学校で生活する経験がない。従って、中国の学校のおかしい規則を記す。

ある学校がある規則であり、前髪を作っていない女子生徒は、頭髪をゴムで結わえてポニーテールにしなければならず、前髪を垂らす際には、眉毛が隠れない長さに切り揃えなければならない。

また、ヒールのある靴を履いてはいけないという規則がある。

## 小、中、高校でのおかしな風習、規則

私の通ってきた学校では特におかしな風習はありませんでした。この課題内容をみながら自分の学校のことを見直したのですが、「廊下を走るな」「靴下の色は白」など他の学校にもある普通の規則しか思い出せず今もなお考えております。ですがやはり思い出せません。他の学校のひとで恋愛禁止の校則があるという話を耳にしましたがそのような規則が全くない環境で育ってきたのだと感じました

## 学校生活の中でおかしいと思った規則や習慣

私が学校生活でおかしいと感じた規則は髪を染めるのを禁止というものだ。中学校の時に禁止されていましたが、個人の意見としては別に染めてもいいのではと思っていました。日本では髪を染めるということにいいイメージを持たない人が少なからずいるので、このような規則があるのだろう。しかし、最近ではファッションの一部となりつつあり、髪を染める人はどんどん増えている。あまりにも奇抜な色で染めるのはよくないと思うが茶髪にする程度であれば認めてもいいのではないだろうか。最近では日本に住む外国人も増え、ハーフなどが増加するだろう。その時親の髪色を受け継ぎ、地毛が黒髪でない人も増えるだろう。その時に、この規則があるとトラブルに発展する可能性もあるのでこの規則は後々無くしていいものだと個人的には思う。

## 中学校・高等学校における制服の着用について

私が今までの学校生活でおかしいと感じた規則は、制服を着用するという規則だ。これは主に中学校、高等学校において定められている規則である。子供たちが服装にかまけることがないように衣服を定める、制服を生産・販売する会社の収入を安定させるなどの目的があるというのが通説であり、そこに関してならば私は納得している。しかし、私は、そのデザインにおいてはささか疑問がある。多くの場合は男子がスラックス、女子がスカートというようにデザインされているのだが、それはなぜなのだろうか。現代社会においてジェンダーの問題はこうも多く取りざたされている。それにもかかわらず制服における男女の差は改善されることがない。私の友人

も、スカートを着用したくないという理由で進学する高校の選択肢が減ってしまった。制服を男女共通のデザインにする、もしくは制服という制度を撤廃することが必要なのではないか。

#### 小学校から高校までのおかしいと関した規則・習慣

1. 高校の授業の習慣で実習の授業で作業を行う際に座ってはいけない。
2. 高校の授業の習慣である学科では、先生の着席の指示が出るまで座ってはいけない。
3. 高校の部活の習慣でカッターボード部の部員は家庭であってもスナック菓子、炭酸飲料を飲み食いしてはいけない。
4. 高校の体育の規則で体育授業の際は学校指定の黒の靴下から白色の靴下に履き替えなければならない。
5. 高校の体育の習慣で15分間走の1週目は1分以内に1周しなければ2週目を始められずそれができるまでやり直し。
6. 高校の体育の習慣で授業はじめに1分間倒立と5分間走を行いきれないと夏休みや放課後に補習を行う。
7. 高校の習慣で授業はじめの挨拶は、起立、気を付け、礼ではなく、起立、休め、気を付け、礼で行う。
8. 高校の規則で教室に取り付けてあるエアコンは、どの階が30度を超えていたとしても1階の事務室の気温が28度以上にならない限り原則つけることができない。

#### 自分が通っていた高校の一年生が行う海岸清掃

自分が通っていた高校では、毎年一年生が秋頃学校のボランティアとして近くの海岸清掃をしている。まず、高校自体が山の中にあるため、近くといっても直線距離でも3～4 kmある。自分の高校よりもこの海岸に近い高校が2つもあるのに、なぜ自分の高校が海岸清掃をやるのかいまだに疑問である。次に、その海岸は一つ隣の駅が最寄り駅なのだが、定期券が無い生徒はその分の電車料金は自分で負担しなければいけない。この清掃は指定の体操着を着て1時間程行う。その後、各クラスでホームルームを行い、各自解散となるが、一部の生徒、特に女子が制服に着替えたいと言うため、近くの私立高校の一部を借りているのだが、その高校が男子校というのが一番の疑問である。他にも広い場所はあるのにこの男子高校なのか正直驚いており、女子の精神面にもっと気を遣うべきだと考えている。

#### 以下追加分

小学生から高校生までの間でこれはおかしいと感じた規則や習慣について

私はおかしいと思った習慣やルールについては特にはありません。

どうしてかという、私があまり他社とのかかわりがないせいだと思います。

小学生から高校生まで他の学校ことについてあまり知っていなかったこともあり、他との関わりがないと自分のいる位置が分からなかったからです。

#### 学校の規則と習慣

学校でおかしな習慣や規則がある所があったという話は聞きますが、私の今まで通った学校でおかしいと思った規則や習慣は思い当たる節はありませんでした。

## 小、中、高校でのおかしな風習、規則

私の通ってきた学校では特におかしな風習はありませんでした。この課題内容をみてから自分の学校のことを見直したのですが、「廊下を走るな」「靴下の色は白」など他の学校にもある普通の規則しか思い出せず今もなお考えております。ですがやはり思い出せません。他の学校のひとで恋愛禁止の校則があるという話を耳にしましたがそのような規則が全くない環境で育ってきたのだと感じました。

## 小学一年生の頃にあった独特な規則

り聞かない校則も多少ではありましたが。私の中で特に印象に残っている校則は"先生が話している際に、や。といった句読点のタイミングで頷く"というものです。先生が話している中クラス全員が同じタイミングで頷くという異様な光景は一生忘れないかと思えます。

恐らく句読点がある時は少し間を開けるということを身に付けるための校則だったのではないかと思います。他校ではあまり聞いたことがなかった為、今回書かせていただきました。

## 小学校から高校までのおかしいとおもった経験

私がおかしいと思った規則や習慣は高校にありました。私の通っていた高校はとても校則が厳しく特に服装は学校指定のもの以外みにつけてはいけなかったり下着セーターの色までしていされたりしました。また髪は、スポーツ刈りか坊主ですこしでも長ければ次の日のあさ7時45分までに切ってきてはんせいぶんをかかなくてはなりません。先生方はこの高校の生徒としての自覚心を持つためと言っていますが勉強には一切関係無いのでおかしいなと感じました。

そして、携帯を持ってきてはいけないという校則では携帯の代わりに辞書を持ってこなければならないとそれに加え置き勉は禁止なので毎日持って帰らなくてははいけませんでした。

## 高校での靴下の長さについての校則について

私の高校では靴下の長さがくるぶしより上にくる長さでなくてはいけなかった。だが、私はくるぶしより下でも上でも問題はないと考える。

夏は特に暑さを少しでも和らげるためにも短い靴下を履きたいと感じていた。

## 中学校・高等学校における制服の着用について

私が今までの学校生活でおかしいと感じた規則は、制服を着用するという規則だ。これは主に中学校、高等学校において定められている規則である。子供たちが服装にかまけることがないように衣服を定める、制服を生産・販売する会社の収入を安定させるなどの目的があるというのが通説であり、そこに関してならば私は納得している。しかし、私は、そのデザインにおいてはいささか疑問がある。多くの場合は男子がスラックス、女子がスカートというようにデザインされているのだが、それはなぜなのだろうか。現代社会においてジェンダーの問題はこうも多く取りざたされている。それにもかかわらず制服における男女の差は改善されることがない。私の友人も、スカートを着用したくないという理由で進学する高校の選択肢が減ってしまった。制服を男女共通のデザインにする、もしくは制服という制度を撤廃することが必要なのではないか。